

3年生用

ゼミコースアウトライン Seminar Course Outline

For 3rd year students

教員名(Name): 松本 曜

*ゼミタイトル Seminar Title 日英語の比較

*授業概要 Outline of the contents

英語と日本語は、何が共通していて、何が違うのか。また、英語らしい表現、日本語らしい表現とはどのようなものか。認知言語学と呼ばれる研究の流れの中では、言語は事物や事態を話者がどのように捉えているか（認識しているか）を反映しているとされる。そのため、日本語と英語で同じ状況表現するのに異なった言い方をする場合、そこには捉え方の違いが反映されている可能性がある。たとえば、英語で店が閉まっていることを表すのに人を主語に立てて We are closed というのに対して、日本語では「閉店中」のように人を主語にせずに表現する。これは人に焦点を当てて状況を描写する英語と、人に注目せずに状況を描写しようとする日本語の間の、状況の捉え方の違いであるとされるのである。この授業では、このような言語と状況の捉え方の関係について学ぶとともに、日本語と英語の語彙や文法の特徴を考察し、その背後にある捉え方の共通性と差異を明らかにしていく。

*授業の形式 How the class is conducted

教科書を通して、認知言語学と呼ばれる言語学の考え方を学びながら、その観点から日本語と英語の語彙と文法についての理解を深めていく。教科書は日本語で書かれたもので、専門用語をできるだけ避けた言語学の読み物である。その本の内容をセクションごとに担当者を決めて発表してもらう。また全員でその内容に関連する特定の課題に取り組んでもらう。その後、各自の関心に従って特定のトピックを決めて、独自に研究を進める。その際のトピックは日本語と英語の比較に関するものであれば何でも良い。そのトピックについて、教師の方で紹介する文献や自分で選んだ文献を読んでもらい、授業で報告するとともに、レポートを完成させる。一期（半年）で2回の発表の機会を作る予定である。

*課題・成績評価基準 Requirements and Assessment

毎回の授業への積極的な参加、教科書に関する発表内容、および教科書と関連する課題(40%)。また、期末に提出してもらうレポート(60%)。

***その他 Others**